

特 記 仕 様 書

- 1 工 事 名 田頭小学校フェンス改修工事（北側）
- 2 工事場所 八幡平市 田頭 地内
- 3 概 要 学校敷地内ネットフェンス（50.0m）改修
 - ・既存柱（基礎含む）撤去、新設 50m（既存取合加工含む）
 - ・既存ネット撤去、新設 50m（既存部取合加工含む）
 - ・既存胴縁 上下各 撤去、新設 50m（既存取合加工含む）
 - ・既存鉄線 4段各 撤去、新設 50m（既存取合加工含む）
 - ・既存門扉（基礎含む）撤去、新設 1基（取合加工含む）
 - ・倉庫屋根雪止め 新設 27か所

4 一般仕様

工事の詳細については、設計図面、特記仕様書によるほか、下記の施工基準・仕様書・指針等に準拠し、監督職員指示の元に入念かつ誠実に施工すること。

設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び質疑、設計図書とおりに施工することで将来不具合が発生しうると判断される場合については、その都度、監督職員と協議すること。

なお、設計図書とおりの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は、監督職員と協議の上、改善策を講じること。

他工事との取り合いについては、予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。

なお、調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は、監督職員の指示により手直し施工を行うこと。

- (1)「建築物解体工事共通仕様書（令和4年度版）
- (2)「公共建築標準仕様書（建築工事・電気設備工事・機械設備工事）」（令和4年度版）
- (3)「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事・電気設備工事・機械設備工事）」（令和4年度版）
- (4)「建築工事監理指針」（令和4年度版）
- (5)「建築改修工事監理指針」（令和4年度版）

5 工事内容等

- ・工事内容は、別紙図面のとおり。
- ・施工計画書を2部提出すること（実施工程表添付）。
- ・材料承認願いを2部提出すること（打ち合わせ簿添付）。

6 特記事項

①設計図書の変更に該当する場合は、市の設計書にて変更額を算出し、その変更設計額に当初設計額と当初請負額の請負率を乗じた金額で請負変更契約を行うものとする。

なお、設計図書に明記がなくとも当然常識的に行うべきこと、或いは、現場の納まりその他の理由で設計内容を変更する場合、軽微な変更については、請負費の増減は行わない。

②工事の打合せは必ず打合簿にて行う。打合簿なき変更は認めない。

③工事に必要な手続き、諸官公署への手続き、仮設電力、仮設水道の引き込み、道路及び他人管理の土地使用手続き等は、請負者において行い、その費用を負担すること。

④施工計画書には実施工程表を添付し、監督職員に2部提出すること。

⑤使用資材は全て監督職員の承認を受け、承認後において施工すること。

⑥塗装は、全仕上げ材の塗り見本を提出し、監督職員の承認を得ること（塗装がある場合）。

⑦ボードの見本を提出し、監督職員の承認を得ること（ボードを使用する場合）。

⑧写真は工程毎に、施工前・施工中・施工後に分け撮影し、工程毎に整理し提出すること。

また、使用資材は全て規格・寸法が確認できるよう写真撮影すること。

なお、完成写真を2部提出すること。

⑨発生材及びリサイクル品は許可を受けた運搬業者により、許可を受けた処分場及び処理場にて適正に処理し、処理後マニフェスト（E票）の写しを提出すること。また、産業廃棄物収集運搬業許可証、産業廃棄物処分業許可証及び産業廃棄物処理委託契約書の写しを提出すること。

⑩工程について市の担当者と打合せを行い、支障のないように工程を組み、工事を進行し、完成さ

せること。小学校夏休み期間内に工事開始及び完了とすること。また、工事日報（着手届日から完成届出日まで）を提出すること。

- ⑪本工事は、八幡平市週休 2 日工事実施要領に定める「週休 2 日工事」である。
実施にあたっては、「八幡平市週休 2 日工事実施要領」に基づき行うこと。
- ⑫請負者は請負契約締結後、速やかに法定外労災保険付保状況報告書、建設業退職金共済掛金収納書（または建設業退職金共済証紙等不購入理由報告書）を提出すること。
- ⑬打合せ事項及び協議事項は、直ちに整理し工事打合簿を添付し指定部数（2 部）を提出すること。
- ⑭竣工検査は、自社検査において所定の検査を完了した後、市の完成検査を受けるものとし、工期内に実施し、工期内に引き渡しを行うこと。
- ⑮建設業法第 22 条に規定する一括下請負を行わないこと。
- ⑯本工事の入札に参加した者に対して工事の一部若しくはその従たる部分又は他から独立してその機能を発揮しない工作物の工事についても委任し、又は請け負わせてはならない。
- ⑰当該敷地内の障害物等は、工事に支障がある場合、監督職員の指示により移設又は撤去するものとし、他の建築物に破損などの損傷を与えないよう十分注意し、万一、破損損傷を与えた場合は、原形に復旧すること。
- ⑱施設利用者等に支障のないよう、工程、仮設及び安全対策を行い、工事現場の整頓・清掃等を行うこと。
- ⑲施工範囲に補修が必要な場合は、事前調査の結果により、補修方法を協議し追加変更する。
- ⑳下請負契約を締結する場合は、八幡平市営建設工事元請・下請関係適正化要綱に従い、必要書類を提出すること。下請負契約締結後は、下請調書及び施工体制台帳を提出すること。
- ~~㉑工事開始前に工事対象となる全ての部材について、石綿（アスベスト）が含まれているか事前に設計図書等の文書と目視で調査し、検査結果の記録を 3 年間保存すること。~~